

## “禁断の果実は、冬に実る”

透子は学校の人気者。四年前に死んでしまった親友、綾瀬の残した喪失感を抱え、彼女を演じながら高校最後の冬を迎えていた。

冬休みの初日、透子のもとに死んだはずの綾瀬がやってくる。冬休みの間、共にすごすふたり。思い出を辿るうちに、透子は自分が綾瀬を殺したことを思い出す。

新学期が始まり、現実に戻っていく透子。その前に、四年前綾瀬と付き合っていた太田があらわれる。透子がふたりの仲に嫉妬していたように、太田もまたふたりに嫉妬していた。

透子が刺した綾瀬に、とどめを刺したのは、太田であった。四年がたった今も、強固な絆を見せ付けるふたりに怒った太田は、綾瀬と同じように透子のことを刺した。

意識を手放した透子は、綾瀬と出会い、その本音に触れる。そして今度こそ、間違えずに綾瀬の手を取り、ふたりはこの世を放れ、煌く世界を目指した。